



送迎バス用園児置き去り事故防止支援安全装置

置き去らんぞう

TKT-EMT-S10-AL1

取扱説明書

目次

ご使用になる前に	2	5. 故障かなと思ったら.....	18
1. 製品構成	5	6. 仕様.....	19
2. 接続.....	7	7. 保証とアフターサービス.....	20
3. 車両への取り付け	10	保証書	裏表紙
4. 使い方	15		

このたびは、アルパインマーケティング 置き去らんぞう をご購入いただき、まことにありがとうございます。

本製品は、2022年12月20日に国土交通省が示した「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」の「乗降時確認式」規定内容を満たしています。(適合確認リスト認定番号：A-042)

取り付け前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、安全に正しく取り付けてください。

この「取扱説明書」の記載内容、外観および仕様は予告なく変更される場合がございます。

保証書（裏表紙をご覧ください）は、内容をよくご確認の上、この「取扱説明書」と一緒に大切に保管してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意



ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

絵表示について





この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示を使用しています。







その表示と意味は、次のようになっています。

取扱説明書をお読みになり内容をよくご理解のうえ正しくお使いください。








 警告	この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例





	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
	一般的な禁止行為を告げるものです。
	分解の禁止を告げるものです。
	警告・注意を告げるものです。

 警告	
	本機を運転や視界の妨げになる位置には取り付けない。 エアバッグなど安全装置の妨げになる位置やシフトレバー、ブレーキペダル付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。
	取り付けには車の保安部品のボルトやナットを絶対に兼用しない。 ステアリングやブレーキなど保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると制動不良・事故・発火の原因となります。
	故障や異常な状態のまま使用しない。 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
	電源リード線の被覆を剥いて他の機器の電源を接続しない。 リード線の電流容量がオーバーして火災や感電の原因となります。
	本機を分解・改造しない。 事故や火災、感電の原因となります。




警告

	<p>正しく配線する。</p> <p>正しく配線しないと発火や事故の原因となります。特にリード線などがネジやシートレールなどの可動部にかみ込まないよう配線してください。またステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付かないよう固定してください。</p>
	<p>配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す。</p> <p>ショートによる感電やケガの原因となります。</p>
	<p>車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する。</p> <p>パイプ類などの破損により火災や故障などの原因となります。</p>
	<p>接続ケーブル類の配線は、高熱部を避ける。</p> <p>排気管やエンジンの付近に配線すると高熱のためケーブル被覆が溶けてショートや断線の危険があり、発火や故障の原因となります。</p>
	<p>本機の取り付けや取り付けの変更は、安全のため必ずお買い上げの販売店または最寄りの弊社代理店に依頼する。</p> <p>専門技術と経験が必要です。</p>
	<p>車外スピーカーは車幅以内に取り付ける。</p> <p>車外スピーカーは、車幅からはみ出さない場所、および車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けてください。歩行者などに接触して事故の原因となります。</p>
	<p>電源コードやその他コードは、運転の障害とならないように配線する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ブレーキやアクセルなど可動部分の近くに配線しないでください。・配線が手や足にさわらないように注意してください。
	<p>ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（2A）のヒューズを使用する。</p> <p>規定容量以上のヒューズを使用すると火災の原因となります。</p>
	<p>雷がなりだしたら本機および配線に触れない。</p> <p>感電の原因となります。</p>

注意

	<p>コード（電源ケーブルなど）をはさみ込んだり引っ張ったりしない。</p> <p>ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本機を落下させたり、衝撃を加えたりしない。</p> <p>衝撃を加えると故障や火災発生の原因となることがあります。</p>
	<p>車体のねじ（保安部品取り付け用のボルト、スクリュー以外のねじ）を使用して取り付ける。</p> <p>ねじが緩まないように確実に締め付けてください。</p> <p>ねじが緩むと事故や故障などの原因となることがあります。</p>
	<p>必ず付属の部品を指定通りに使用する。</p> <p>指定以外の部品を使用すると機器内部の部品を傷めたり、確実に固定できずに外れたりして事故や故障などの原因となることがあります。</p>

注意

	接続終了後は、ケーブル類をクランプや絶縁テープなどで固定する。 ケーブル類が緩むと車体部分との接触によりケーブル類の外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。
	車体に穴を開けてケーブル類を配線するときは、絶縁性の保護チューブまたはグロメットなどを使用する。 開口部との接触により外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。
	車体に穴を開けて機器の取り付けあるいはケーブル類の配線をするときは、開けた穴との隙間をシリコン接着剤などで充填する。 排気ガスやほこり・水などが隙間から室内に侵入し、事故などの原因となることがあります。

はじめに

本製品は通園用バスまたはワゴン車に設置する「園児置き去り事故防止」を目的とした支援機器です。
このため 2022 年 12 月 20 日に国土交通省が示した「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」の「乗降時確認式」規定内容を満たしています。

主な支援要素は下記となります。

- ・キースイッチ（イグニッションキー）を OFF にすると、車内点検メッセージが流れ、本体の「たすけてぼたん」を長押しして待機状態にします。
- ・本製品の待機状態時に「たすけてぼたん」を押すと、車外スピーカーから警告メッセージを流し、救助要請します。
- ・園児の乗降時、運転席の操作で任意に車外スピーカーから、乗降案内メッセージを流すことで、乗降時の安全を支援します。

使用上のご注意

- ・周囲に人がいないような場所に幼稚園バスを保管している場合、通報が届かない可能性があります。また、スピーカーの設置方向により、音が聞こえにくい方向があります。駐車の際には、スピーカーの発するメッセージが人のいる方向に向くように駐車してください。
- ・本装置は、バッテリーが上がった時や、整備のためにバッテリーを外した時以外は常に作動しており、機能を停止するためのスイッチ等は設けておりません。

装着適合車両

- ・システム電圧 12V または 24V
- ・車両の形態 バスまたはワゴン
- ・車両のキースイッチ OFF、ACC、ON の回路が有ること

稼働地域

- ・日本国内で最低気温が -30°C を上回る地域

園児への指導

送迎バスを利用する園児には以下の内容をご指導ください。

- ・車の中に取り残されてしまった場合は、本体「たすけてぼたん」あるいは増設用「たすけてぼたん」（オプション）のどちらでも良いので、しっかり押すこと。車外スピーカーから警告メッセージが流れます。
- ・置き去らんぞうは、大切に扱うこと。ぶら下がったり、物をぶついたりしないこと。

運用に関与する方へ

本装置は、通園用の送迎バスなどで降車確認を忘れて園児をバスに置き去りにしてしまう事故を未然に防ぐため、車内点検を確実に実施していただくために製作されたものです。運用に関与する方は、以下の内容をご確認ください。

- ・ 終業時にキースイッチを OFF すると、本体スピーカーから車内確認メッセージが流れます。2 分以内に車内を点検した後に本体「たすけてぼたん」を 3 秒以上長押ししてメッセージを止めてください。システムが待機状態になります。
- ・ 2 分以上経過して、車外スピーカーからメッセージが流れ始めた場合、キースイッチを ACC にするとメッセージは止まります。車外スピーカーから車内点検メッセージが流れた時は、本体「たすけてぼたん」を長押ししても、メッセージは止まらず、警告メッセージが流れます。
- ・ 車外スピーカーからメッセージが流れた時は、キースイッチを OFF から ACC にするとメッセージは止まります。
- ・ ガソリンスタンドで給油する際や乗降中などにエンジンを止める場合は、キースイッチを OFF まで回さず ACC で止めることで、車内点検メッセージが流れないようにできます。
- ・ 走行後等にキースイッチを OFF にして、車内点検メッセージが流れた場合は、キースイッチを ACC にするとメッセージは止まります。

1. 製品構成

標準キット

部品名称	個数
置き去らんぞう（配線ケーブル含む）	1 式
本体取付用両面テープ	3 枚
車外スピーカー	1 個
車外スピーカー取り付け用タッピングスクリュー	4 本
乗降案内スイッチ	1 個
乗降案内スイッチ取付け用両面テープ	1 枚
乗降案内スイッチ取付け用タッピングスクリュー	2 本
圧着スリーブ	10 個
ヒューズ（配線付き）	2 本
施工完了チェックシート	1 枚
保証書	本書 （本誌裏表紙）
取扱説明書（本書）	1 冊

オプション標準キット

部品名称	個数
増設たすけてぼたん	1 個

※キット内容を確認して、不足があった場合は「保証とアフターサービス」(P.20)を確認し、お問い合わせください。

各部の名称

本体 (TKT-EMT-A001-AL1)

①電源ランプ (緑色 LED)

本装置の動作時に、点灯または点滅します。くわしくは、「LED表示とシステム状況 (故障診断)」(P.18) をご覧ください。

②エラーランプ (赤色 LED)

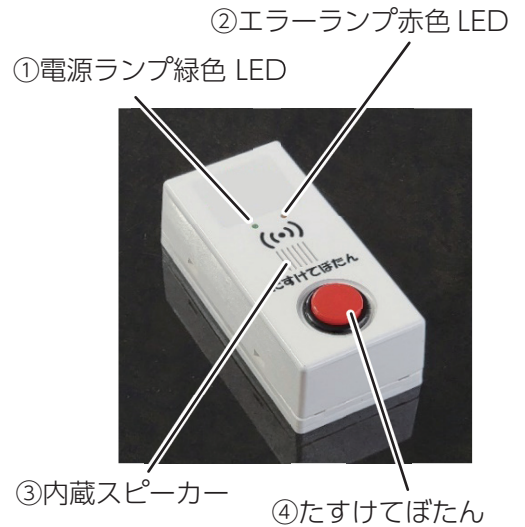
本装置に異常が発生しているときに点滅します。異常が発生したときのランプの状態については、「LED表示とシステム状況 (故障診断)」(P.18) をご覧ください。

③内蔵スピーカー

各種メッセージを流します。

④たすけてボタン

車内点検を促すメッセージの再生時、長押しすると待機状態になります。
待機状態の時に押しと車外スピーカーから警告メッセージが流れます。



車外スピーカー (TKT-EMT-SP01-AL1)

防水型スピーカーで、車体前面あるいは後面などに設置します。「乗降案内スイッチ」や「たすけてボタン」など、作動時の音声を再生します。



乗降案内スイッチ (TKT-EMT-SW01-AL1)

運転席に設置するスイッチです。このスイッチの操作で、園児乗降車時に、園児が乗降していることを知らせるメッセージの ON/OFF が選択できます。



増設用「たすけてボタン」(オプション) (TKT-EMT-BS01-AL1)

待機状態時に押しと車外スピーカーから車外に警告メッセージを流すための増設用ボタンです。乗降口近くなど、「たすけてボタン」を増設したい場合に利用します。

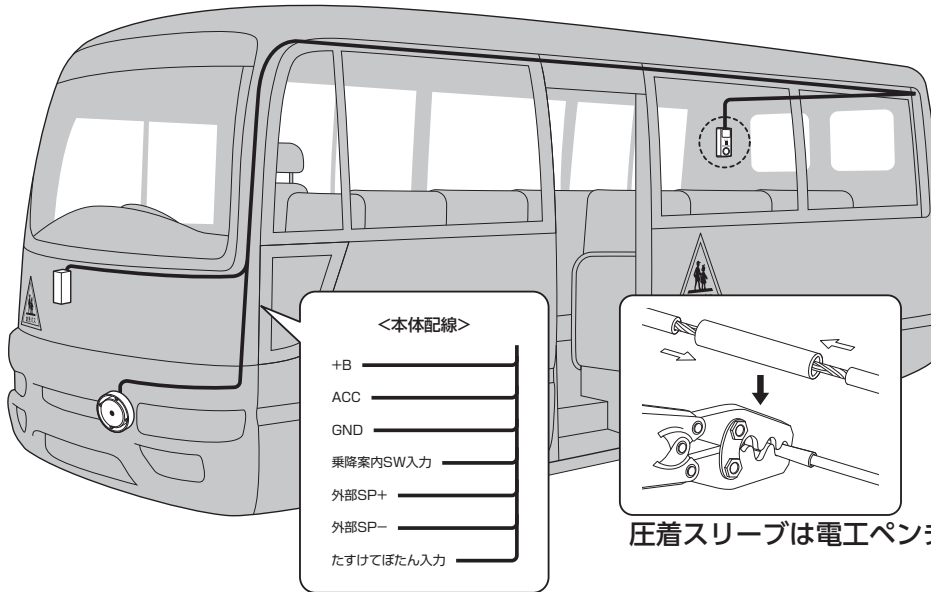


たすけてボタン

2. 接続

配線の接続

"置き去らんぞう" 本体は付属の両面テープ (3 枚) を使用し、園児がボタンを押しやすく、手の届く位置に設置してください。また、直射日光が当たる場所を避け、できるだけ雨などの水滴がかからない位置に設置してください。



- 園児のいたずらや事故防止のため、配線を車内にむき出しにすることは避けて下さい。
- 各配線は付属の圧着スリーブなどを使用して確実に接続してください。また、接続後はテープ巻きなど確実に保護してください。

配線時のご注意

- ギボシなどにはカバーを取り付け、短絡を防止してください。
- ギボシやコネクタ接続部は、接続した後に確実にテーピングしてください。
- 配線の固定は、50cmを超えない間隔で、フレームなどにクリップやタイラップを使用して固定し、走行時の振動などで配線が外れないようにしてください。
- 車体などの金属部に穴を明けて配線を通す場合は、金属部にゴムのグロメットを付けるなど、配線が金属と直接に接触しないようにしてください。
- 幼稚園バスは子供たちが乗るので、配線は極力見えないように内装の内側を通してください。難しい場合は、いたずらされたり、引っ張られたりしないように、ケーブルカバーなどで保護してください。

本体の配線

同梱されている配線キットの7極コネクタを本体プリント基板の7極コネクタに接続してください。配線キットからは下記配線が出ています。

+ B	配線キットに付属のヒューズを通して、常時 ON 電源に接続してください。
ACC	配線キットに付属のヒューズを通して、キースイッチが ACC の時に +12V あるいは +24V になる回路に接続してください。
GND	配線キットを通して、フレームアース、乗降案内スイッチ、たすけてぼたんに接続してください。
乗降案内 SW 入力	配線キットを通して、乗降案内スイッチに接続してください。
外部 SP+	配線キットを通して、車外スピーカーのプラス (赤) に接続してください。
外部 SP-	配線キットを通して、車外スピーカーのマイナス (白) に接続してください。
たすけてぼたん入力	配線キットを通して、増設するたすけてぼたんに接続してください。

車外スピーカーの配線

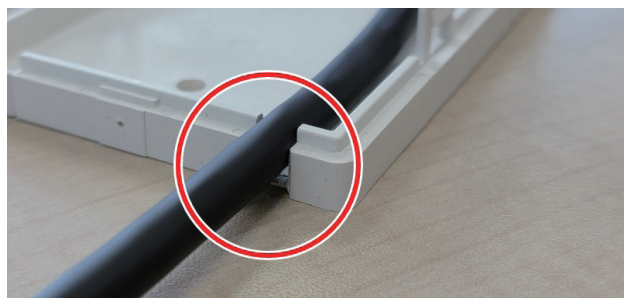
赤と白の2本の配線が出ています。赤線を本体配線の「外部 SP+」に、白線を「外部 SP-」に接続してください。

乗降案内スイッチの配線

赤と青の2本の配線が出ています。赤線を本体配線キットの「乗降案内 SW」に、青線を GND に接続してください。

ケーブル取り出し口

本体下蓋ケース側にケーブル取り出し口の爪が6か所あります。



使用する爪部分をラジオペンチなどで落としてください。

増設用「たすけてぼたん」の配線

白と黒の2本の配線が出ています。白線を本体配線キットの「たすけてぼたん」の配線に、黒線を GND に接続してください。

本体の設定

増設用「たすけてぼたん」を追加する時は、電源線を接続する前に本体内プリント基板のオプションスイッチ用ディップスイッチを「有」に切り替えてください。

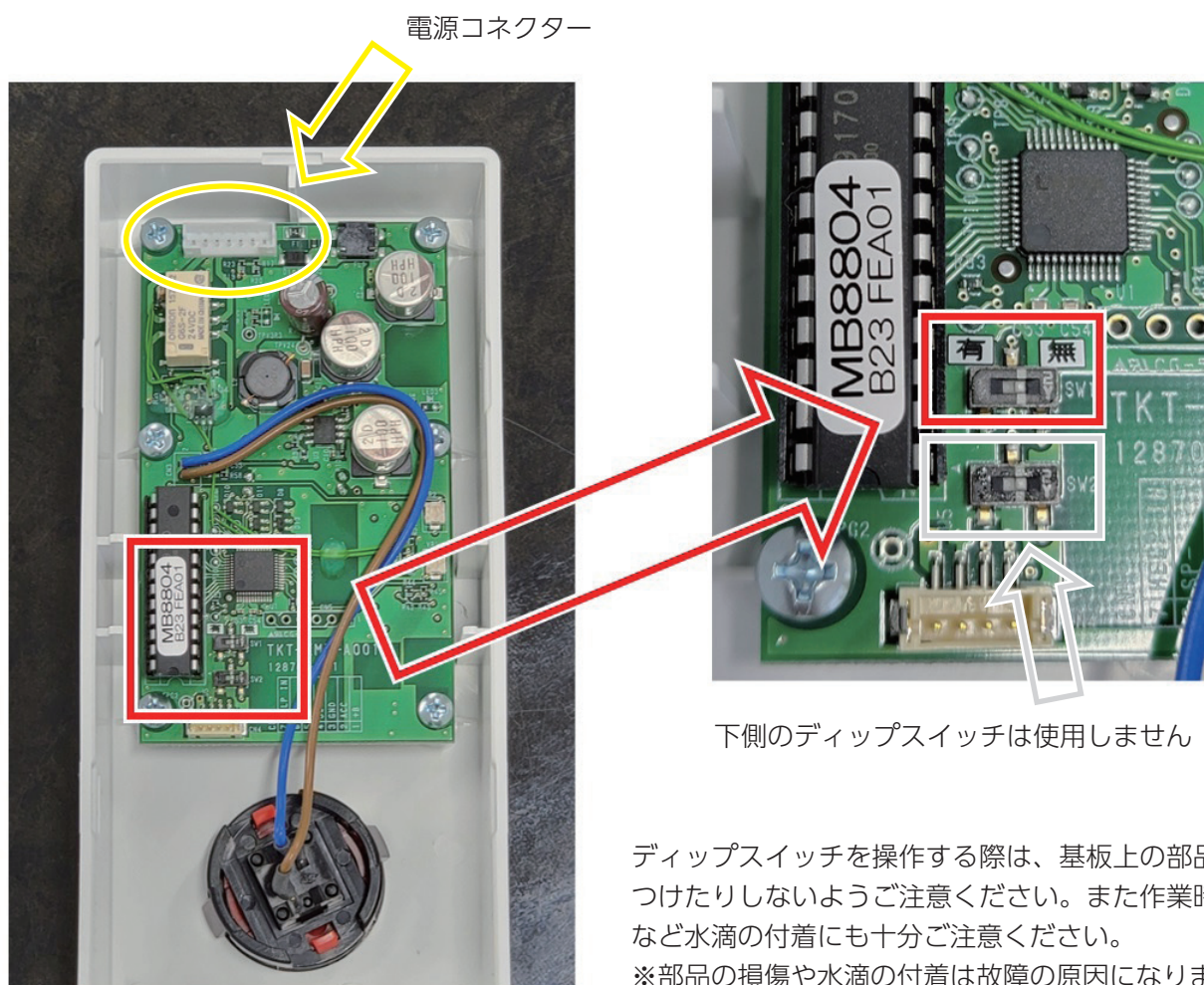
※工場出荷時は「無」になっています。

注意

本体通電時のディップスイッチの切り替えは無効です。

本体の電源が入っている状態で、且つディップスイッチが「無」位置の状態、増設用「たすけてぼたん」を接続した場合、本体が増設用「たすけてぼたん」を認識しない、または故障診断アナウンスが流れます。

その場合は、本体の電源コネクタを挿抜してください。本体がリセットされます。



本体取扱時のご注意

基板の損傷、水滴の付着、コネクタの緩みなどに十分気を付けて取扱ってください。
ケーブル用通し穴は六ヶ所あります。通す場所の爪を切り落としてください。
また、置き去らんぞう本体のケースは確実にはめ込んでください。

3. 車両への取り付け

本体の取付け

本体取り付け時のご注意

- ・ 本体は、車内点検後に押すため、車内後方に取り付けてください。
- ・ 園児でも手の届くように、床から 80 ~ 100cm の分かり易い場所に取り付けてください。
- ・ 電源ランプ、エラーランプが運転席から容易に確認できる位置に取り付けてください。
- ・ 水抜き穴が下になるような向き（たすけてぼたんの文字が正しく見える向き）で取り付けてください。

- 1** コードを取り出す方向を決め、本体ケースベースのコード取り出し用に薄くなっている部分をラジオペンチなどで切り取る
コード取り出し箇所は、上下に各 2 か所、左右に各 1 か所の取り付け面周囲 6 か所から選んでください。
- 2** ケーブルを取り出す
- 3** 本体に本体ケースベースをはめこんで固定する
- 4** 付属の両面テープを使用し車体に取り付ける
取り付け面を脱脂した後に取り付けてください。

車外スピーカーの取付け

車外スピーカー取り付け時のご注意

- ・ 車外スピーカーは車両前面あるいは後面などの音が周囲に伝わり易い場所に取り付けてください。
- ・ スピーカーの厚さは 38mm です。車両の長さで ± 3cm、幅で ± 2cm の範囲を超えないように取り付けてください。規定値を超えた場合、車検証記載事項の変更や構造変更検査が必要になります。
- ・ 車外スピーカーは付属のタッピングスクリュー（M4 × 30）等で車両本体に確実に固定してください。
- ・ タッピングスクリューの締め付けトルクは 2.0Nm です。取付時はパッキンのコード溝が下になる向きで取り付けてください。

使用上のご注意

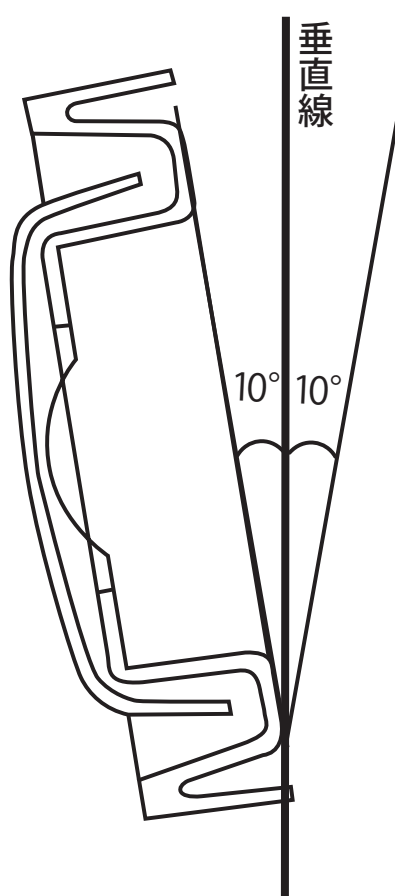
雨水などがかかる場合では、できるだけ垂直になるように取り付け、スピーカー内部やくぼみに水が溜まらないようにお願いします。

又、清掃には乾いた布か水や中性洗剤を少し含んだ布で内部に入らないように拭くことをお願いします。スピーカー内部に水が溜まることを防ぐため、高圧洗浄やホースで水を掛けることは避けてください。

製品内部への水の滞留を防ぐため、以下の設置角度を守ってください

- 1 軸が垂直面方向に対して、【± 10° 以下】で設置してください。

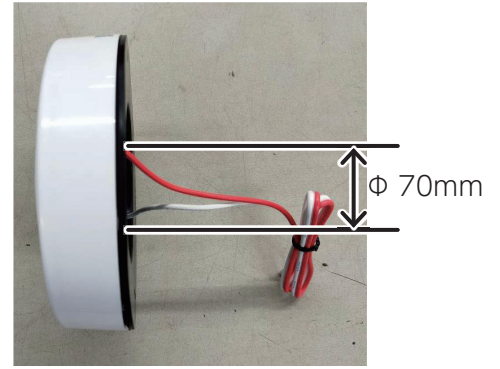
レフレクター内部に水が溜まり、排水されなくなります。



内部に水が溜まると音道を塞いでしまい、音が小さくなったり、振動板の耐久性が下がり、寿命が短くなる可能性があります。

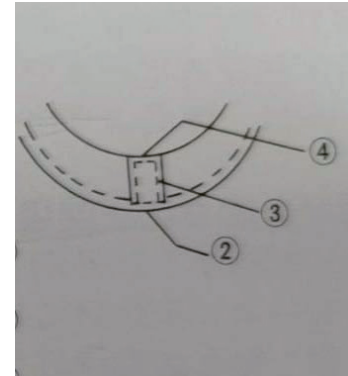
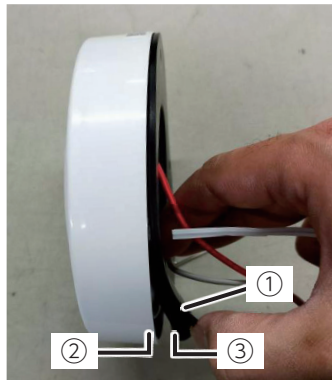
■ スピーカーの裏から配線する場合

- 1 スピーカー中心からΦ 70mm 以内にコード引き出し穴を開ける
強く引き出さないでください。防水性が低下します。
- 2 コード引き出し穴にグロメット（別途手配してください）
を取付ける。
- 3 コード引き出し穴からコードを引き出す
スピーカーと取り付け面の間でコードに少し余裕を取ってくだ
さい。



■ スピーカーの側面から配線する場合

- 1 スピーカー正面から見て、取付穴の間の凸の裏側のパッキン①を、本体より少しはがす
強く引き出さないでください。防水性が低下します。



- 2 ホーン外壁の薄くなった部分②を切り取る
- 3 パッキンのコード溝③の内側の薄壁④を破る
- 4 コードを内側からパッキンの薄壁④に通し、ホーン外側に出す
コードはパッキン中央部で、少し余裕を持たせてください。（余裕を多くすると、コードが取付け面とスピー
カーの間に挟まれて、正しい取り付けができなくなります）。

乗降案内スイッチの取付け

- 1 付属の両面テープまたはタッピングスクリューを用いて、乗降案内スイッチを取り付ける
運転手が、運転席に座ったままで操作しやすい場所に取り付けてください。
- 2 乗降案内スイッチの配線を、本体に接続した配線キットの乗降案内スイッチ入力用配線と GND に接続してください。

乗降案内スイッチ取り付け時のご注意

配線の収縮チューブ部に部品加工（抵抗追加）しております。破損を防ぐため、その部分を引っ張ったり、折ったりしないよう注意してください。

増設用「たすけてぼたん」の取付け

- 1 増設用「たすけてぼたん」の配線を、本体に接続した配線キットの「たすけてぼたん」入力用配線と GND に接続する
- 2 付属の両面テープを用いて、増設用「たすけてぼたん」を取り付ける
乗降口付近の仕切り板や壁など、園児が操作しやすい床から 80 ～ 100cm の位置に取り付けてください。

設置後の試験方法

試験項目	操作	動作確認の内容
本体と車外スピーカーの接続	キースイッチを OFF から ACC にする	本体内蔵スピーカー、車外スピーカーの順に「置き去らんぞう起動しました。」のメッセージが再生される。
本体と乗降案内スイッチ、車外スピーカーの接続	キースイッチを OFF から ACC にして、乗降案内スイッチを ON にする	乗降案内スイッチを操作すると、車外スピーカーから警報音と「園児が乗降中です。ご注意ください。」のメッセージが再生される。
本体の動作①	キースイッチを OFF にする	<ul style="list-style-type: none"> ・本体内蔵スピーカーから、警報音に続いて「車内点検をして警報を切ってください。」のメッセージが再生される。 ・キースイッチを ACC 位置に切り替えると、再生が停止する。
本体の動作②	キースイッチを ACC にした後 OFF にし、本体スピーカーが車内確認メッセージが流れたあと、2 分間放置する	<ul style="list-style-type: none"> ・本体内蔵スピーカーに加え車外スピーカーから「車内点検をして警報を切ってください。」のメッセージが再生される。 ・キースイッチを ACC 位置に切り替えると、再生が停止する。
本体の動作③	キースイッチを ACC にした後 OFF にして、本体スピーカーが車内確認メッセージを流し始めたあと、2 分以内に本体の「たすけてぼたん」を 3 秒以上長押しする	本体内蔵スピーカーからの警報音とメッセージの再生が停止する。
本体の動作④	上記の本体の動作③の後、本体「たすけてぼたん」を再度押す	車外スピーカーから警報音と「車にいます。助けてください。」のメッセージが再生され続ける。
本体の動作⑤	「車にいます。助けてください。」という SOS メッセージが車外スピーカーから流れた後、キースイッチを ACC にする	車外スピーカーからの警報音とメッセージが停止する。
本体の動作⑥	キースイッチを ACC にした後 OFF にして、本体スピーカーが車内確認メッセージを流し始めたあと、本体の「たすけてぼたん」を短く押す	車外スピーカーから警報音と「車にいます。助けてください。」のメッセージが再生され続ける。
増設用「たすけてぼたん」の動作	オプションの増設用「たすけてぼたん」を装着した場合 キースイッチを ACC にした後 OFF にして、本体スピーカーが車内確認メッセージを流し始めたあと、増設用「たすけてぼたん」を押す	車外スピーカーから警報音と「車にいます。助けてください。」のメッセージが再生され続ける。

4. 使い方

本システムの使い方を説明します。

状況に応じて流れるメッセージについては、「メッセージ一覧」(P.17)をご覧ください。

通常運用

置き去らんぞうの起動

1 運転席のキースイッチ（イグニッションキー）を、OFF 以外の位置に切り替える

本体に起動信号が送られ、本体内蔵スピーカー、車外スピーカーの順にメッセージが流れます。

ご注意

- ・ 本体の起動後は、運行時も含めキースイッチを OFF 位置に切り替えないでください。キースイッチを OFF 位置にすると、「置き去らんぞう」が車内確認モードに切り替わります。「置き去らんぞう」が車内確認モードに切り替わった場合は、キースイッチを OFF 以外の位置に切り替えれば、起動時の動作に戻ります。

参考

- ・ 本体内蔵スピーカー、車外スピーカーからメッセージが再生されず、故障表示メッセージが内蔵スピーカーから再生される場合は、「故障かなと思ったら」(P.18) をご覧になり、本体表面の電源ランプとエラーランプの状態を確認してください。

2 以降、通常の運転を行う

参考

- ・ ガソリンスタンドでの給油時も、キースイッチを OFF 位置に切り替えないでください。キースイッチを OFF 位置にすると、「置き去らんぞう」の車内確認モードに切り替わります。「置き去らんぞう」の車内確認モードに切り替わった場合は、キースイッチを OFF 以外の位置に切り替えれば、起動時の動作に戻ります。
- * 給油時にイグニッションキーが必要な車両においては、スペアキーを携行し、給油時はスペアキーで給油口を開けることをお勧めします。

車内確認モードおよび置き去り防止システムへの切り替えかた

1 運転席のキースイッチ（イグニッションキー）を OFF 位置に切り替える

「置き去らんぞう」が車内確認モードに入り、本体内蔵スピーカーから、警報音に続いてメッセージが繰り返し再生されます。

2 本体の「たすけてぼたん」を長押しする

車内で警報音に続いてメッセージが再生されている間（2分間）に、車内点検を行ったあとに本体の「たすけてぼたん」を3秒以上押し続けると、メッセージが停止し本体が車内確認モードから待機状態になります。

置き去り防止システムの起動のしかた

1 本体が待機状態のとき、本体あるいは増設用「たすけてぼたん」を押す

車外スピーカーから、警報音に続いて緊急メッセージが繰り返し再生され、周囲に緊急事態を知らせます。

乗降案内スイッチの使いかた

園児の乗降中に、周囲への注意喚起のため車外スピーカーからメッセージを流します。

- 1 運転席に設置した乗降案内スイッチを ON にする
車外スピーカーから、園児の乗降中を知らせるメッセージが繰り返し再生されます。
- 2 運転席に設置した乗降案内スイッチを OFF にする
メッセージの再生が止まります。

車外スピーカーから警告音とメッセージが流れたら

- 1 運転席のキースイッチ（イグニッションキー）を OFF 以外の位置に切り替える
車外スピーカーから再生中の警報と緊急メッセージが停止します。
- 2 車内確認や救護措置などの必要な行動をとる

オプション

増設用「たすけてぼたん」の使いかた

置き去り防止システムが待機状態に切り替わった後の本体「たすけてぼたん」と同様の機能を持っています。乗降口付近等に設置すると、緊急時に園児が近い方の「たすけてぼたん」を利用できるようになります。

メッセージ一覧

本システムでは状況に応じて以下のメッセージが流れます。

メッセージ	システムの状況	車内 / 本体内蔵 スピーカー	車外 / 防水 スピーカー
起動確認メッセージ 「置き去らんぞう起動 しました。」	キースイッチを OFF から ACC にした時に、本体 スピーカーと車外スピーカーから順に流れます。	メッセージ再生	メッセージ再生 (小音量)
車内点検メッセージ 「車内点検をして警報 を切ってください。」	キースイッチを OFF にすると本体スピーカーから 警報音の後に流れます。運転手の方は車内点検をし つつ車内後方へ移動し、本体の「たすけてぼたん」 を長押し (3 秒以上) すると、メッセージは止まり ます。 2 分以内にメッセージを止めないと車外スピー カーから警報音とメッセージが流れます。この場合 は、キースイッチを一度 ACC にしてメッセージを 止め、再度キースイッチを OFF にして、車両点検 後に本体の「たすけてぼたん」を長押し (3 秒以上) すると、メッセージは止まります。	メッセージ再生	2 分後にメッ セージ再生 (大 音量)
警告メッセージ 「車にいます。助けて ください。」	終業後、本体の「たすけてぼたん」あるいは増設用 「たすけてぼたん」を押すと、車外スピーカーから 警報音の後に繰り返し流れます。車内点検メッセ ージが出ている時に本体の「たすけてぼたん」を長押 しすると車内点検メッセージが止まりますが、再度 本体の「たすけてぼたん」あるいは増設用「たすけ てぼたん」を押せば、警告メッセージが流れます。	—	メッセージ再生 (大音量)
乗降案内メッセージ 「園児が乗降中です。 ご注意ください。」	キースイッチが ACC あるいは ON の状態で乗降案 内スイッチを ON にすると、車外スピーカーから 警報音の後に繰り返し流れます。乗降案内スイッ チを OFF にするとメッセージは止まります。	—	メッセージ再生 (中音量)
故障表示メッセージ 「故障が考えられます。 LED の点滅を確認し てください。」	システムに断線や短絡等の異常が生じると本体ス ピーカーから警報音の後に左記のメッセージが 5 分間隔で繰り返し流れます。本体に装着されている 電源ランプとエラーランプが点灯、点滅を繰り返 しますので、点滅回数と点滅の速さをご確認くだ さい。故障内容は、「LED 表示とシステム状況 (故障 診断)」(P.18) の表をご確認ください。	メッセージ再生	—

※本体スピーカーと車外スピーカーの音量調整はできません。

5. 故障かなと思ったら

本装置正常作動中は本体の電源ランプが点灯あるいは点滅しており、異常発生時には電源ランプが消灯し、エラーランプが点滅すると共にスピーカーより警報音の後に「故障が考えられます。LEDの点滅を確認してください。」というメッセージが間隔をあけて繰り返し流れます。エラーランプの点灯・点滅状態で故障内容が判別できるシステムになっています。詳細は、下記「LED表示とシステム状況（故障診断）」の表をご確認ください。

■ 全く起動確認しない場合

- 1 本体の電源ランプ、エラーランプが点灯していない場合は電源が来ていません。下記を確認してください。
 - ・ 長期に休車した場合などはバッテリーが外れている、あるいはかなり放電している場合があります。キースイッチをACCにしても置き去らんぞうが起動しないだけでなく、他の機器（メーターパネルのランプ類やラジオなど）も作動しない場合はバッテリーが接続されているか、電圧が正常であるかをご確認ください。
 - ・ 本体の配線が外れている可能性があります。コネクタが外れていないか確認してください。
- 2 本体の電源ランプが消灯している場合はACC回路のヒューズが切れている等でACC回路の電源が入っていない可能性があります。置き去らんぞうのACC取り出し部のヒューズあるいはヒューズボックスのACC回路のヒューズ（いくつかある場合があります）が切れていないかを確認してください。

■ その他の症状の場合

本体の電源ランプ、エラーランプの点滅状況を確認した上で、以下の表をご参照ください。

LEDの点滅状況（点滅回数など）で、故障場所がある程度特定できます。修理依頼の際にLEDの点滅状況をご連絡いただくと、修理時間が短縮できます。

LED表示とシステム状況（故障診断）

緑色 LED	赤色 LED	システムの状況
点滅	消灯	正常作動中（キースイッチがOFFの状態）
点灯	消灯	正常作動中（キースイッチがOFF以外の状態）
消灯	消灯	B+、ACC共に電源が切れている可能性があります。
消灯	0.5秒間隔で点滅	B+電源回路が切れている可能性があります。
消灯	0.5秒間隔で2回点滅の後1.5秒点灯、0.5秒消灯を繰り返す	スピーカー回路が断線した可能性があります。
消灯	0.5秒間隔で3回点滅の後1.5秒点灯、0.5秒消灯を繰り返す	スピーカー回路が短絡した可能性があります。
消灯	0.5秒間隔で4回点滅の後1.5秒点灯、0.5秒消灯を繰り返す	本体たすけてボタンがON状態で固着（押されたまま）の可能性があります。
消灯	0.5秒間隔で5回点滅の後1.5秒点灯、0.5秒消灯を繰り返す	乗降案内スイッチ回路が断線した可能性があります。
消灯	0.5秒間隔で6回点滅の後1.5秒点灯、0.5秒消灯を繰り返す	増設たすけてボタン回路が断線した可能性があります。
消灯	0.5秒間隔で7回点滅の後1.5秒点灯、0.5秒消灯を繰り返す	増設たすけてボタン回路が短絡した可能性があります。

6.仕様

電源		DC12 V または 24 V
動作電圧		DC9.6 V ~ 28.8 V
定格消費電力	待機時	最大 0.5 W
	発報時	最大 6 W
外形寸法 (突起物を除く)	本体	W70 mm × H148.5 mm × D40 mm
	車外スピーカー	Φ 130 mm × H38 mm
	乗降案内スイッチ	W65 mm × H112 mm × D33 mm
	たすけてぼたん	H75 mm × D35 mm
使用環境温度		- 30 °C ~ + 65 °C
放置温度		- 40 °C ~ + 70 °C
質量	本体	約 145 g (ケーブル除く)
	車外スピーカー	約 500 g
	乗降案内スイッチ	約 20 g
	たすけてぼたん	約 100 g (ケーブル除く)
耐振性		JIS1601 2種A種
防塵防水性	本体	IP40
	車外スピーカー	IP54
	乗降案内スイッチ	IP40
	たすけてぼたん	IP40
スピーカーの音圧	本体スピーカー	7m 地点で 70 dB(A) 以上 10cm 地点で 120 dB(A) 以下
	車外スピーカー	50m 地点で 63 dBA 以上